



特別名勝

六義園

- 開園年月日
昭和13(1938)年10月16日
- 開園面積
87,809.41㎡
- 開園時間
午前8時～午後5時
(入園は午後4時30分まで)
※パルクの閉園時刻は20時閉園時刻が適用されます。
- 休園日
年末年始(12/29～1/1)
- 無料公開日
みどりの日(5月4日)
敬老の日(10月1日)
- 観覧料(無料)
土、日曜日、祝日
(午前11時と午後2時の1日2回)

【お問合せ先】
六義園サービスセンター
☎03-3941-2222
〒113-0021東京都文京区本駒込6-16-3

スタンプ欄

	個人	団体 (20名以上)	車庫バスポート (六義園)	車庫バスポート (9段車庫)
入園料	一般 300円 65歳以上 150円	240円 120円	1,200円 600円	4,000円 2,000円
無料	小学生以下及び町内各小・中学校の中学生 身体障害者手帳、盲の手帳、精神障害者保健福祉手帳 または障害者手帳持参の方と付添の方			
	六義園 旧古河庭園「庭園」入園料優待 400円			

	1年前の部 9:00～12:00	2年前の部 12:30～16:00	3日 9:00～16:00
観覧料 (1日)	心算亭 全席(25名) 4,800円	4,800円	9,600円
	心算亭 松づつばの間(17名) 3,600円	3,600円	7,200円
	心算亭 66名の間(18名) 1,200円	1,200円	2,400円
	観音亭 全席(15名) 7,400円	7,400円	14,800円

※1ヶ月前の貸付日前10時から受付いたします。 ※別途入園料の必要です。



公園へ行こう

検索

六義園サービスセンター(総合案内係) 受付時間(9時～18時)
TEL:03-3932-3028 FAX:03-3932-1120(土、日、年末年始休)
東京都文京区 本駒込6-16-3 東京都立六義園
http://www.rikugien.or.jp

13/10

特別名勝

六義園 Rikugien Gardens

和歌の心悬づく雅な大名庭園



制定管理者 公益財団法人 東京都公園協会

文化財庭園へご来園の皆様へ

都立庭園は、江戸、明治、大正時代から続く歴史・文化・自然を兼ね備えており、いずれも園や都の文化財に指定されています。震災や戦災、進む都市化の中で残された貴重な存在であり、この貴重な存在がよりよい状態で後世に残るよう、皆様にご理解とご協力をお願いいたします。

【庭園からお願い】

- ペット(動物)を連れてのご入園、園内の動植物の採集、動物の利用、酒類の持込みはご遠慮ください。
- 園内での喫煙はご遠慮ください。
- 写真撮影、写生は建物・景観物保護の為に制限する場所があります。
- 文化財は定期的な保存修理工事を要することがあり、一部ご観覧いただけない部分があります。

都立文化財庭園

- 浜離宮恩賜庭園
- 旧芝離宮恩賜庭園
- 小石川後樂園
- 六義園
- 旧岩崎邸庭園
- 向島石花園
- 清澄庭園
- 旧古河庭園
- 殿ヶ谷戸庭園

和歌の庭

六義園は五代将軍・徳川綱吉の信任が厚かった川越藩主・柳沢吉保が元禄15(1702)年に築園し和歌の趣味を基調とする「回遊式廻山泉水」の大名庭園です。当園は池をめぐる園路があるきながら移り変わる景色を楽しむ繊細で温かな日本庭園です。

江戸時代の大名庭園の中でも代表的なもので、明治時代に入って、三菱の創業者である岩崎彌太郎の別荘となりました。その後、昭和13(1938)年に岩崎家より東京都(都)に寄付され、昭和28(1953)年に国の特別名勝に指定された貴重な文化財です。



つづじ茶屋

明治年間、つづじの古木材を用いて建てられたものです。戦災をまぬがれ、現代にその香少ない姿を保っています。木柱の紅葉が見事です。

滝見茶屋

あずまの橋を渡って走り、苔の園から落ちて水しぶきをあげています。あずまからは、滝や石組(水分子/みずわかへ)などの景観や水音が楽しめます。



石柱

庭内の88ヶ所の景勝地(六義園八十八境)には、それぞれに石柱が建てられていますが、現在では32ヶ所のみが残っています。

蓬莱島

神仙思想を主題とした石組の一種で、典型的な回廊石組(アーナ形)の島です。

園名の由来

六義園の名は、中国の詩の分類法(詩の六義)になった古今集の序にある和歌の分類の六作(そえ歌、かぞえ歌、なぞらえ歌、たとえ歌、たぐひ歌)に由来したものです。柳沢吉保自身の撰した『六義園記』では、日本語に「むかしの」と呼んでいますが、現在では唐音読みで「六義」を「ロウジ」と読み替わった、「ロウジ園」と読みます。



庭園ガイド

オンラインガイドと一緒に園内を散策しながら六義園の見どころ、日本庭園の歴史、歴史の話、和歌の話などを聞いてみませんか。

※土曜日曜、祝祭日の午後11時と午後2時の2回、所要時間約60分(無料)

藤代峠

園内が一番高い登山道で、標高は35m。ただ今は「富士見山」と呼ばれ、そこからは素晴らしい景観が広がっています。紀州(現在の和歌山)にある同名の峠から名付けられました。



蛸道

古くはタモを「蛸」と呼び、この小道がタモの糸のように細いことから名付けられました。



渡月橋

「和歌のうら 芦辺の田圃の境内に 夜わたる月の影ぞるびしき」の歌から名付けられた石の橋。2枚の大石の重層感が、あたりの空気を引き締めています。

妹山・背山

中の島にある登山。古くは女性のことを妹、男性のことを背と呼び、この中の島は男女の関係を表現しています。イザナガ、イザナハの故事にもむ「せきれい石」もあります。※中の島には通常入ることができません。



出汐瀨

大泉水の遊歩の名のひつ、眺望に恵まれ、右手に中の島、左手に蓬莱島、対岸に吹上浜が見えます。

内庭大門

庭園の中心に入るための門で広場にはシラヤマザクラの大本が植えられています。

